（様式３－１）　研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

NO.1　　嬉野市議会議員　　増田　朝子

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開催月日 | 平成30 年4月25日（水）～　4月26 日（木） | | |
| 開催時間 | 4月25日(13:00～15:35) | | |
| 開催場所 | 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 | | |
| 主催者 | 全国市町村国際文化研究所 | | |
| 研修会等の名称 | 市町村議会研修「2日間コース」「第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」決算の意義と審査のポイント | | |
| 講師等の氏名等 | 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科　教授　稲沢　克祐(いなざわ　かつひろ)氏 | | |
| | 自治体決算の基礎（変革の時代） | | |
| | ①ひと：人口減少、高齢社会　②もの：道路や橋、施設も老朽化する　③おかね：これからの地方 | | |
| | 財政の課題 | | |
| | 「決算は終わったことだから・・・、これからの予算の方が大切」⇒「決算の結果を見て予算を審議する」 | | |
| | 決算審査における着眼点【基本方針】 | | |
| | ①予算審議（当初・補正）との関連から審査する　②住民の視点から審査する。　③全体を捉えてから | | |
| | 細部の議論 | | |
| | 【視点】Ⅰ財政数値の視点　①決算規模の年度比較　②決算収支の状況の年度比較　③予算の執行 | | |
| | 状況の分析　④財政構造の分析　⑤地方債および債務負担行為の状況 | | |
| | Ⅱ財産の状況　①施設等…実在性の確認など　②出資団体等…出資団体の検証や事業の必要性など | | |
| | Ⅲ成果の検証…①当初の目的は達成されたか　②経済性、効率性の観点はどうか | | |
| | 地方財政の用語の理解 | | |
| | **歳入**…どのようにお金が集まってくるのか | | |
| | 地方税：自分で集めて（自主財源）、自由に使える（一般財源）　地方交付税：他人からもらって（依存 | | |
| | 財源）、自由に使える（一般財源）　国庫支出金：他人からもらって（依存財源）、自由に使えない（特定 | | |
| | 財源）地方債も同じ | | |
| | **歳出**…どのようにお金を使うか | | |
| | 目的別：総務費、民生費、衛生費、農林水産業費、土木費、教育費、公債費（借金返済） | | |
| | 性質別：人件費（給料）、扶助費（生保）、公債費、普通建設事業費（道路や庁舎：単独/補助） | | |
| | 【感想】毎年9月議会において前年度の決算を審議する中で講義のように、「決算は終わったことだか | | |
| | ら…、これからの予算の方が大切」という空気を感じるところもあるが、各自治体財政が厳しい状況の | | |
| | 中、決算審査における着眼点と細部の視点を持ってしっかりと審議することが翌年度の予算につなが | | |
| | る。このことが市民にとって納得する市政につながると改めて感じた。 | | |
| 上記活動に要した経費 | 経費の内容 | 支払先 | 金額 |
| | 旅費規程に基づき算出された旅費 | | 29,450 |
| | 研修費・食費・活動費 | | 7,300 |
| | 振込手数料 | | 540 |
| | | | 37,290 |

（様式３－１）　研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

NO.2　　嬉野市議会議員　　増田　朝子

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開催月日 | 平成30 年4月25日（水）～　4月26 日（木） | | |
| 開催時間 | 4月25日(15：50～18：00) | | |
| 開催場所 | 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 | | |
| 主催者 | 全国市町村国際文化研究所 | | |
| 研修会等の名称 | 市町村議会研修「2日間コース」「第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」　決算審査の実践 | | |
| 講師等の氏名等 | 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科　稲沢　克祐(いなざわ　かつひろ)氏 | | |
| 内容・結果等 | **財政構造分析のための3つの観点** | | |
| | ①収支の均等が保持され、計画的な財政運営が行われたか | | |
| | 必要な歳出を実現するために、歳入が確保されたか（収支健全性：自治体の財政運営の根幹）<br>単なる収支均衡ではなく、不測の事態に対しても対応できるだけの余力も必要。、 | | |
| | ②財政構造は弾力的に維持されているか。（決算カード、類似団体比較カード、財政状況資料集） | | |
| | 決算カード…決算統計の集計結果を各都道府県、市町村ごとの各種財政指標等の状況について、1枚のカードにまとめた資料<br>財政状況一覧表…一般会計等に加えて企業会計などの特別会計の状況。第3セクター等の経営状況を総合的に公表する資料。 | | |
| | ③地方債の残高と基金の残高はどのように増減し、その結果将来への純負担額は増加していない | | |
| | か。収支健全性の分析（経常収支比率：経常収入を経常支出で割ったもの、総合的な現金収支や | | |
| | 資金繰りを見る指標） | | |
| | | | |
| | ○収支健全性の分析（収支状況と基金残高との関係から） | | |
| | ○経常収支比率の性質別科目ごと推移 | | |
| | ○積立金、地方債残高、債務負担行為の支出予定額 | | |
| | ※　この3問を2人組で分析するワークショップがあった。 | | |
| | | | |
| | 【感想】決算カード、類似団体比較カード、財政状況資料集などの見方を再度確認できてよかった。 | | |
| | 収支健全性の分析など2人組で演習を行ったが、正直時間も短く難しかった。しかしながら、この | | |
| | ような視点を押さえ、時間をかけて分析していく訓練が重要と思った。決算状況（自治体の規模、 | | |
| | 財政状況が一目でわかる）を常に携帯しておくようにと以前講師の方に教わった。今後も数字と | | |
| | 向き合って、収支健全性に向けて分析できるようにしていきたいと思う。 | | |
| 上記活動に要した経費 | 経　費　の　内　容 | 支　払　先 | 金額 |
| | 旅費規程に基づき算出された旅費 | | NO.1に同じ |
| | 研修費・食費・活動費 | | |
| | 振込手数料 | | |
| | | | |

（様式３－１）　研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

NO.3　　嬉野市議会議員　　増田　朝子

| | |
|---|---|
| 開催月日 | 平成30 年4月25日（水）～　4月26 日（木） |
| 開催時間 | 4月26日（9:25～12:00） |
| 開催場所 | 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 |
| 主催者 | 全国市町村国際文化研究所 |
| 研修会等の名称 | 市町村議会研修「2日間コース」「第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」　決算審査の新しいアプローチ |
| 講師等の氏名等 | 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科　教授　稲沢　克祐(いなざわ　かつひろ）氏 |
| 内容・結果等 | 公会計改革<br>①現金主義…「現金の収入や支出のタイミング」の日付で帳簿をつける方法<br>②発生主義…「収入や支出の事実が確定した時点」の日付で計上する会計方式<br>貸借対照表・・会計年度末における財政状態（資産保有状況と財源調達状況：バランスシート）を表す財務書類<br>【公会計改革の効果】<br>住民に対する開示による効果・・・①透明性の向上　（連結ベースの財政状況・世代間負担の状況等を明示　　コストと住民（受益者）負担の関係を明示　税金等の財源と使途を明示）<br>行政経営への活用による効果…②マネジメントの向上（計画目標設定・進捗管理、他団体比較、行政評価等との連携…③資産・債務の適切な管理<br>【行政評価の視点】<br>妥当性…〇行政関与は妥当か　〇政策体系上の目的に結びつくか　〇手段は目的達成のために妥当か　など<br>有効性…〇成果向上の余地はあるか　〇同一目的事務事業はないか　〇事務事業の成果は施策の目標達成に貢献しているか　など<br>効率性…〇成果を落とさずオスと削減可能か　〇民間委託は可能か　〇受益者負担を求める必要がるか、負担割合を増やす必要があるか　など<br><br>【感想】 バブル崩壊後、デフレ経済が深刻化して来た時期に国・自治体ともに税収減、公債増発による公債残高の累増の事態から財政再建が喫緊の課題となっていた。当時の試算はどの程度あるのかを一覧できるバランスシートが注目された。現在は平成30年3月31日までに平成28年度決算を基にした財務書類が作成され、複式簿記の導入と固定資産台帳の作成が義務付けられている。公会計改革を進める中で住民に対する開示すると言うことは、とても重要である。また、行政評価の視点を踏まえ、事務事業の点検をしていきたいと思う。 |

| 上記活動に要した経費 | 経費の内容 | 支払先 | 金額 |
|---|---|---|---|
| | 旅費規程に基づき算出された旅費 | | NO.1に同じ |
| | 研修費・食費・活動費 | | |
| | 振込手数料 | | |
| | | | |

（様式３－１）　研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

NO.4　　嬉野市議会議員　　増田　朝子

| | |
|---|---|
| 開催月日 | 平成30 年4月25日（水）～　4月26 日（木） |
| 開催時間 | 4月25日(13:00～15:00) |
| 開催場所 | 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 |
| 主催者 | 全国市町村国際文化研究所 |
| 研修会等の名称 | 市町村議会研修「2日間コース」「第1回自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」　行政評価を用いた決算審査の実践 |
| 講師等の氏名等 | 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科　教授　稲沢　克祐(いなざわ　かつひろ)氏 |
| 内容・結果等 | 決算審査の活性化<br>自治体を取り巻く環境が大きく変化しようとしている。人口減少、少子高齢化、公共施設、インフラ資産の老朽化、債務の増大などの政策課題に対してはすべて、現状をよく把握して過去の政策を振り返ることが求められている。決算審査を活性化していくことこそ、将来に向けた政策議論、すなわち予算審議を充実させるための要点である。<br>【先進例】　埼玉県秩父市　主要な施策の成果説明書として行政評価シートを提出している。<br>行政評価の基本事業は予算事業に一致している。<br>秩父市の財務報告書より<br>現金主義（現金の収支に着目した会計処理原理：官庁会計）と発生主義（経済事象の発生に着目した会計処理原理：企業会計）<br>単式簿記…経済取引の基調を現金の収入・支出として一面的に行う簿記の手法（官庁会計）<br>複式簿記…経済取引の記帳を借方と貸方に分けて二面的に行う簿記の手法（企業会計）<br>事務事業評価票（事業の目的…対象（誰を・何を）、意図（どういう状態にしたいのか）<br><br>【感想】<br>自治体の財政は家庭に置き換えると、家計においては収支バランスの良し悪しで家庭崩壊にもつながる。そこに貯金（目的）、借金（必要なのか）、返済（何年ローン）と計画的に取り組むことが必要である。子育て世代の家庭では、子どもの成長過程で支出の内容が変わってくる。年を重ねれば、医療費もかさんでくる。前年度は何に使って、何が無駄だったのかと振り返りが大切だと思う。そして、翌年の計画を立てる。本市においても、前年度に執行した事業が市民にとって、効果があったか、無駄ではなかったかとしっかり審議することがとても大事と思う。そして、市の財政状況をもっと市民にわかりやすく公開する事の必要さも感じた。私の今期のテーマの1つに「財政の健全化」を上げており、また財政力あってこそ、未来への投資なので、しっかりとチェックできるように今後も財政の勉強をしていきたいと思う。最後にこの研修は昨年から受講したかった研修だが、講師の稲沢氏においては、一方的な講義で質問の時間がなかったことが残念だった。 |

| | 経費の内容 | 支払先 | 金額 |
|---|---|---|---|
| 上記活動に要した経費 | 旅費規程に基づき算出された旅費 | | NO.1に同じ |
| | 研修費・食費・活動費 | | |
| | 振込手数料 | | |
| | | | |